

■学校再開ガイドライン

牧之原小学校

子供たちの健康を守るために、全教職員で、新型コロナウイルス感染症対策に取り組めます。保護者の皆様も、御協力をお願いします。以下、牧之原小学校の「学校再開ガイドライン」をお知らせします。

1 保護者の皆様へのお願い(重要)

- ①家庭での検温は必ず行うようにしてください。健康チェックカードにその日の朝の体温と、健康状態について記入し、毎日持たせてください。
- ②風邪の症状がある場合は、登校させないでください。熱が出た場合は、解熱後、3日間は登校できません。
- ③これらの欠席は、すべて出席停止扱いとなります。
 - ・風邪の症状がある場合
 - ・家族に発熱や風邪の症状があるため欠席する場合
 - ・感染症対策として、御家庭が登校させないことを決めた場合
- ④学校生活はマスク着用となります。

2 登校時の児童の動き

- ①7:30に昇降口を開けます。それよりも前に学校に着くことにならないよう、集合場所からの出発時刻を調整してください。
- ②7:30に昇降口で健康チェックカードを回収します。その際に、体調についても確認します。熱を測り忘れた子、体調が悪い子は、原っ子ルームに移動して、検温します。
- ③体調がよくない場合、保護者の方に電話連絡します。お迎えをお願いします。
- ④学級担任は、各教室で児童を迎えます。学級担任も、体調の確認をします。

3 集団感染リスク対応

- ①担任は、次のことに注意します。
 - 教室の換気、児童の机を離す(理想は1メートルから2メートル)、児童は全員前向き
 - 全員マスク着用、教室のこまめな消毒、休み時間ごとの手洗いうがい
 - ※遊ぶ時はマスクと手洗いの徹底を呼びかけ、なるべく通常の生活ができるようにします。
- ②級外職員が、次のことに注意します。
 - ・授業中に教室以外の消毒、授業中の児童の様子観察、休み時間の遊びの観察
- ③給食について
 - ・配膳を行う児童、教職員の下痢、発熱、腹痛、嘔吐などの症状の有無、衛生的な服装、手指の洗浄を徹底します。

・食べる時には、向かい合わせにしません。会話は控えます。教室以外の場所も使って、なるべく密にならないようにします。(原っ子ルーム、めぐみの森、校庭、音楽室、図工室、児童会室)

④授業について

○音楽科の指導

・歌唱指導は、音楽室ではなく、体育館で行います。歌唱、リコーダー、鍵盤ハーモニカの際には、約2メートルの間隔をとります。

○体育科の指導

- ・小運動場、大運動場で授業を行います。
- ・水泳の授業が可能かについては、現在確認中です。
- ・密集、接触する運動は8月いっぱいまでひかえます。

○家庭科の指導

・調理実習は8月いっぱいまではひかえます。

○対話的な授業

・長時間のグループ活動はひかえるようにします。

⑤学校行事の変更について

感染拡大防止の措置の対応をとりながら、児童にとって必要な活動は何かを全教職員で考え、実施していきます。最優先すべきは、学習を保証していくことですが、同時に、児童の心の成長も大切に考えます。大きな行事(運動会、修学旅行、観音山自然体験教室、卒業式)については、保護者の皆様にも内容の検討に御協力をいただきます。

4 臨時休業による不足した時数の確保について

4月からの臨時休業により、各学年、以下の授業時数が不足しています。

1年生・・・84時間	2年生・・・109時間	3年生・・・131時間
4年生・・・137時間	5年生・・・137時間	6年生・・・133時間

不足している時数については、次のような変更により補っていきます。

【例】

- ・夏休みのスタートを、8月8日(土)とします。
- ・夏休みの終了が早くなります。(検討中)
- ・3年生～6年生の6時間授業が増えます。
- ・2年生の5時間授業が若干増えます。
- ・クラブ活動の回数が減ります。
- ・行事を精選します。

子供たちがしっかり学べることを考えるのはもちろんですが、牧之原小学校は、子供たちの心の成長を第一優先します。よって、子供たちの心が豊かになることをめざした活動は、学校ができる感染症対策はしっかりと行い、実施していきます。その際には、これまで以上に、地域・保護者の皆様の御協力をお願いします。